

JP043 三貫島 (さんがんじま)

岩手県：釜石市

位置	N 39° 18′ E 141° 59′
面積	25ha

環境構成【島嶼／森林】

箱崎半島のオイデ崎の沖約 0.7 km に位置する無人島。島の周囲は高い崖で周りに大小の小島や砂浜がある。島内は、南方系のタブノキの老齢林が全体を覆い、トチノキ、ミズナラ、オオバイボタなどが混じる。タブノキ林内は裸地となっている。尾根筋は、ヤダケが広く覆い、オオバジャノヒゲ、オオイタドリ、ツルマサキ、ヨモギ類などが見られる。島内は急傾斜地が多く、岩や浮き石が多い。南斜面は土砂崩れが時々、発生している。



写真：関川實

選定理由

A4i	ウミネコ
A4ii	オオミズナギドリ
A4iii	オオミズナギドリ

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（三貫島）、国立公園（三陸復興）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物三貫島オオミズナギドリ及ヒメクロウミツバメ繁殖地

保全への脅威

- ・食物となる海洋生物の減少
- ・ウミツバメ類の営巣地となるオオバジャノヒゲなどの減少
- ・ウミツバメ類を捕食するオオセグロカモメの増加
- ・ヤダケの拡大
- ・島の周辺の延縄、刺し網等

- ・ P C Bや環境ホルモン、マイクロプラスチックなどの海洋汚染
- ・ 重油流失等の事故
- ・ 繁殖期の釣り人などの上陸
- ・ 2014 年三貫島の南側尾崎半島沖が洋上風力発電の試験地に指定された。今後施設が設置される。
- ・ 東日本大震災の地震と津波により島の斜面の岩石の崩落と砂浜の一部流失が発生。

鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化
変わらない
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有（一部分）
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：
変化がある 詳細、具体例等：東日本大震災による一部環境の変化
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：
普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

保全活動

- ・ 環境管理：実施者（環境省大船渡管理官事務所）
内容：島内の海鳥の繁殖状況、環境変化等
- ・ モニタリング調査：実施者（環境省）
内容：環境省モニタリングサイト 1000

見られる鳥

島全体がオオミズナギドリの繁殖地となっている。ヒメクロウミツバメ、クロコシジロウミツバメ、コシジロウミツバメが生息しているがどの種類も激減している。現在、繁殖が確認されているのはコシジロウミツバメのみで、しかもすべて岩の隙間で確認されている。東日本大震災で西端のウミツバメ 3 種の小規模繁殖地が被災したが、2012 年に南斜面で夜間、ヒメクロウミツバメ、コシジロウミツバメ、クロコシジロウミツバメの群れの飛翔や地表、岩の下で鳴く個体、巣、ヒナも確認された。

ウミネコは、1970 年代に繁殖しなくなったが、2011 年に再び繁殖を開始し個体数は回復しつつある。ケイマフリは 1970 年代半ばに絶滅。ウミスズメの繁殖は、1971 年の確認以降、繁殖記録はないが夏期にしばしば島の周辺海域で確認されている。ウトウも夏期に島の周辺海域でみられる。冬期は、オオワシ、オジロワシの越冬地となっている。

留鳥

ウミウ、ウミネコ、ハヤブサ、トビ、イソヒヨドリ、ハクセキレイ、ウグイス、ミソサザイ

夏鳥	クロコシジロウミツバメ、コシジロウミツバメ、ミサゴ、ゴイサギ、アマツバメ
周辺海域 夏季	ウミスズメ、ウトウ
冬鳥	カイツブリ類、ウミスズメ類、カモメ類、ヒメウ、クロガモ、シノリガモ、オオワシ、オジロワシ
繁殖海鳥	オオミズナギドリ、ヒメクロウミツバメ、クロコシジロウミツバメ、コシジロウミツバメ、ウミウ、オオセグロカモメ

*三貫島の周辺海域は、マリーン IBA (Marine Important Bird and Biodiversity Areas : 海鳥の重要生息地) に選定されている。

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, Geobase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community